

河川氾濫時の行動学ぶ

南富良野 小中高生が「防災学校」



町の防災マネジャーの林さん（左端）の案内で空知川の堤防を見学する南富良野西小の児童ら

たりして災害に備える重要性を学んだ。

町は水害発生時の8月31日を「町防災の日」と定めている。

南富良野西小では30日、全校児童23人が、決壊後に再整備された幾寅地区の空知川の堤防と、新設された水位計や水位標などを見て回った。案内役の町防災マネジャー林隆峰さん(63)は「水害時には水位計などの情報を基に町民に情報を提供している」と解説した。同小6年の大和美優さん(11)は「水害時の備えが大事と知ることができた。勉強したことを方が一の時に生かしたい」と話した。

南富良野高では31日、7年前の水害時に町でボラン

【南富良野】南富良野西小や南富良野高などで8月30、31の両日、大雨による河川氾濫を想定した「1日

防災学校」が開かれた。児童生徒らは、2016年の連続台風による水害の爪痕を見学したり、講話を聞いた。